



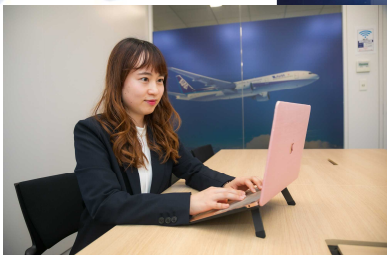
行政 ANAあきんど株式会社 派遣職員（2023年度）

～ 取材メモ ～



東京(日本橋)本社にて、撮影しました。オフィス街のためまわりに飲食店も多く、近くにランチをよく食べに行くとのこと。

オフィス内には、複数の個室がありました。打ち合わせや来客対応に使われているそうです。(仕切りには大きな飛行機の写真が！)



Q 秋田県職員を志望した理由を教えてください。

私は学生時代、県内で地域活性化に取り組む若手経営者の方々と出会い、自身も地元に貢献したいという気持ちが高まりました。秋田県と関わりのあるウラジオストク市に留学した経験から、国内外の各地域との交流を活発にすることで、秋田を元気にすることができると考え、直接その取り組みに携われる秋田県職員を志望しました。

Q 現在、派遣先ではどんな仕事をしていますか？

配属部署のANAあきんど(株)地域創生部営業チームでは、主に「ANAふるさと納税の自治体向けセールス」と自治体からの「交付金事業」、地域事業者と連携しながら「非交付金事業」に取り組んでいます。私は、ふるさと納税の北陸エリアのセールスと非交付金事業としてANA農園プロジェクトに携わっています。

Q 派遣を希望した理由を教えてください。

前任地の「政策研究大学院大学」にて地域創生事業について研究する中で、民間での地域活性化の取り組みに興味を持ちました。そこで、「ANAグループのリソースを活用して地域創生事業に自治体等と連携して取り組む」ことを目的としている現派遣先では、民間側からの視点やノウハウを吸収したり、行政側の課題を考える機会を創出できると思い希望しました。

Q 派遣先で印象に残ったことや、良かったと思ったことはありますか？

職場でのフリーアドレスやフレックスタイム制度等、各自のペースに合わせた自由な働き方が選択できたり、会議の際に活発な意見交換ができる雰囲気も印象的です。また担務の特性上、様々な自治体に出張する機会が多く、県に戻ってからの業務に活かせる貴重な経験を得ています。

Q 派遣先での経験は、今後の県庁業務へどのように生かせそうだと思いますか？

前任地の政策研究大学院大学への派遣では全国や各国から派遣されている同世代の行政職員と繋がることができましたが、今回の派遣でも社内外で沢山の皆様と接する機会があります。外部派遣の一番の魅力は「人脈の広がり」だと思います。今後一緒に働く機会もあるかと思っていますので、皆さんとのご縁を大事にしたいと思っています。

Q これからチャレンジしたいことや今後の目標を教えてください。

国内外へ本県の魅力を発信し、交流活動の推進に取り組む観光や産業振興業務のほか、秋田県へのUターン促進に関わる地域活性化業務に携わり、「秋田の元気づくり」にチャレンジしたいと考えています。また、他の地域の魅力を学ぶことにより、秋田県の魅力を客観的に捉えられることから、これからは常にアンテナを高くし、見聞を広げる努力を続けたいと思います。

県職員を目指している方へメッセージ！

私が就職を決める際の軸は、「秋田県が元気になることに繋がる仕事がしたい」でした。情報発信や交流活動を活用した地域活性化は公的な面が大きいので、行政の立場がやりやすいのではと考え、秋田県職員を受験しました。皆さんも仕事を選択する際は、様々な条件はあるかと思いますが、もし秋田を元気にすることにチャレンジしたい！と考えるなら、秋田県職員を選択肢の一つに入れてみてください。一緒に取り組む方が一人でも増えることを願っています！

※掲載事項は2024年2月末時点のものです。